

登壇者紹介

	<p>中谷 比呂樹 グローバルヘルス人材戦略センター・ディレクター、厚生労働省国際参与。 臨床研修終了後、公衆衛生に転じ、厚生労働省など国内ポストと WHO を往復しながらキャリアを形成。WHO では本部事務局長補 (ADG) として数多くの幹部選考委員会の委員長と務める。医師・医学教育学修士・医学博士。</p>
	<p>喜多 洋輔 外務省国際協力局 国際保健戦略官 厚生労働省に入省後、HIV/AIDS 対策、予防接種法改正、介護保険制度改正に従事。その後、世界保健機関 (WHO) ジュネーブ本部出向 (マラリア対策等)、地方自治体 (山口県) 出向 (健康増進対策)、厚労省大臣官房国際課国際保健企画官 (ダイヤモンド・プリンセス号対応を含む COVID-19 対策) を経て、2020 年より国際連合日本政府代表部参事官として NY に赴任。グローバルヘルス外交の第一線に立つ。2024 年 8 月より現職。医師、公衆衛生学修士、行政学修士。</p>
	<p>高橋 雅央 Gavi 新規連携推進室 室長 野村総合研究所で欧州・アフリカの事業展開・再編、政策提言に従事。2010 年から世界経済フォーラムで日本・アジア地域のアジェンダ、技術イノベーション、新興企業プログラムを担当。2021 年から現職。現在はアジア・中東・アフリカ・中南米の政府・民間セクター連携を推進。横浜国立大学工学大学院、IESE Business School 修了 (MBA)。</p>
	<p>高橋 勇貴 Gavi データガバナンス&アナリティクスチーム マネージャー 大和証券シンガポール、ムンバイ支店で機関投資家営業を経験後、Markit 社 (現 S&P Global) でデリバティブ商品の時価評価に従事。その後 IFC トレジャーリー部門で定量分析官として流動資産のリスク評価を担当し、KPMG FAS でデータサイエンスチームをリード。2022 年から現職でデータプラットフォームの整備やダッシュボード作成を主導。シンガポール国立大学物理学修士、香港大学経済学修士。</p>
	<p>スカデュート・クリスティーナ 明香 Gavi モニタリング評価・学習戦略チーム、シニアマネージャー 国際 NGO で HIV や結核などのグローバルヘルスの優先課題に従事。2020 年より EY-パルテノン日本・米国のライフサイエンスおよびヘルスケア部門で戦略およびプロジェクト管理のコンサルタントとして勤務。2021 年より現職。現在は MEL 部門の変革プロセスやデータ関連の戦略的イニシアチブを主導。ハーバード大学大学院修了 (MSc)</p>